

Biz Boxルータ「NVR500」

Rev.11.00.38

ファームウェアリリースノート

以下のとおり機能追加・仕様変更・機能改善が行われました。

---

Rev.11.00.36 からの変更点

---

## ■機能追加

[1] 本機にアクセスするときのセキュリティーを強化した。

(1) login password [encrypted]コマンド、 administrator password [encrypted]コマンド、  
login userコマンドを設定したときにパスワード強度を出力するようにした。

パスワードを空に設定した場合は、設定を促すメッセージを出力するようにした。

- パスワード未設定

"Password is not set. Please set the password in order to enhance the security."

- パスワード強度 弱

"Password Strength : Weak"

- パスワード強度 中

"Password Strength : Fair"

- パスワード強度 強

"Password Strength : Strong"

- パスワード強度 最強

"Password Strength : Very strong"

(2) かんたん設定ページの以下のページで、パスワードを変更したときにパスワード強度を表示するようにした。

- [詳細設定と情報]-[ユーザとアクセス制限の設定]
- [詳細設定と情報]-[ユーザとアクセス制限の設定]-[無名ユーザの設定]
- [詳細設定と情報]-[ユーザとアクセス制限の設定]-[ユーザの一覧]-[ユーザの追加]
- [詳細設定と情報]-[ユーザとアクセス制限の設定]-[ユーザの一覧]-[ユーザの修正]

(3) シリアル、TELNET、SSH、リモートセットアップで、login passwordコマンドの設定値が工場出荷状態のまま無名ユーザがログインしたときに、以下のメッセージを出力するようにした。

"The login password is factory default setting. Please request an administrator to change the password by the 'login password' command."

(4) シリアル、TELNET、SSH、リモートセットアップで、administrator passwordコマンドの設定値が工場出荷状態のままadministratorコマンドで管理者権限に昇格したときに、以下のメッセージを出力するようにした。

"The administrator password is factory default setting. Please change the password by the 'administrator password' command."

(5) 以下の手段でログインに3回連続で失敗したら1分間ログインできなくなるようにした。

- シリアルコンソール
- リモートセットアップ
- TELNET
- SSH
- SFTP

アクセス制限時の動作は以下の通り。

- アクセス制限は接続種別ごとに行われる

ただし、TELNETとSSHに関しては接続元IPアドレスごとに制限される

- アクセス制限がかかったときは、以下のINFOレベルのSYSLOGを出力する

"Login access from 接続種別 was restricted. [: IPアドレス]"

- 接続種別は"Serial", "Remote", "TELNET", "SSH"のいずれか

- IPアドレスはTELNETまたはSSHのときに表示される

- アクセス制限中にログインしようとする、コンソールとSYSLOGには以下のメッセージを出力する

ユーザー名は無名ユーザー以外でアクセスしたときに表示される

コンソール："Error: Login access is restricted."

SYSLOG："Login failed for 接続種別[: IPアドレス [ユーザー名]]"

(6) かんたん設定ページへのログインに3回連続で失敗したら1分間ログインできなくなるようにした。

アクセス制限時の動作は以下の通り。

- アクセス制限はクライアントのIPアドレスごとに管理される

- ステータスコード403を返し、アクセス制限中であることを表示する

- アクセス制限がかかったときは、以下のINFOレベルのSYSLOGを出力する

"Login access from HTTP was restricted. : IPアドレス"

- アクセス制限中にログインしようとする、SYSLOGには以下のメッセージを出力する

"Login failed for HTTP: IPアドレス"

(7) 管理パスワードまたはログインパスワードが工場出荷時の設定のままでもかんたん設定ページにログインしたとき、パスワードの設定変更を促すメッセージを表示するようにした。

(8) かんたん設定ページにアクセスし、ログインしないで認証ダイアログを閉じたときに表示されるページを「Error 401」に変更した。

(9) telnetd hostコマンドでパラメータとしてlanを指定できるようにし、工場出荷状態の設定にtelnetd host lanコマンドを追加した。

(10) pptp hostnameコマンドの初期値を機種名から空文字("")にした。

(11) PPTPのベンダー名を設定できるようにした。

○PPTPのベンダー名の設定

[書式]

pptp vendorname NAME

no pptp vendorname

[設定値および初期値]

NAME

[設定値]:ベンダー名 (64バイト以下)

[初期値]:-

[説明]

PPTPベンダー名を設定する。

[ノート]

本コマンドで設定した値がStart-Control-Connection-RequestとStart-Control-Connection-Replyのベンダー名にセットされる。本コマンドが設定されていないときはベンダー名に空文字がセットされる。

NVR500 Rev.11.00.38以降のファームウェアで使用可能。それ以外のファームウェアではベンダー名に"YAMAHA Corporation"がセットされる。

(12) HTTPレスポンスヘッダから、機種を特定できる文字列を削除した。

変更前

Server: YAMAHA-RT

WWW-Authenticate: Basic realm="[YAMAHA-RT]"

変更後

Server: Router

WWW-Authenticate: Basic realm="[Router]"

[2] モバイルインターネット機能で、以下のデータ通信端末に対応した。

- NTTコム UX302NC-R

- ソフトバンク 604HW v1.04以降

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/mobile-internet/index.html>

外部仕様書をよくご確認ください。

## ■仕様変更

[1] モバイルインターネット機能で、NTTコム UX302NCの網からの切断処理を変更した。

[2] 以下のデータ通信端末を使用するとき、show status usbhostコマンドでデータ通信端末のRevisionを表示するようにした。

- NTTコム UX302NC

## ■バグ修正

[1] ひかり電話の追加番号で発信した場合に、着信側の設定によりボイスワープで転送されると、転送先の番号表示に契約者番号が表示されるバグを修正した。

[2] モバイルインターネット機能のPPインターフェース接続で、網への接続ができなくなる可能性があるバグを修正した。

Rev.11.00.25以降でのみ発生する。

[3] telnetd hostコマンドでパラメータanyまたはnoneの後に任意の文字列を入力してもエラーにならないバグを修正した。

## ■脆弱性対応

[1] スクリプトインジェクションの脆弱性対応を行った。

- CVE-2018-0665 (JPCERT/CC JVN#69967692)

- CVE-2018-0666 (JPCERT/CC JVN#69967692)

以上